

2022年10月 全国百貨店売上高概況

2022年11月24日

I. 概況

1. 売上高総額	4,281億円余
2. 前年同月比(増減率)	11.4%(店舗数調整後/8か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	71社 186店 (2022年9月対比±0店)
4. 総店舗面積	4,840,954㎡ (前年同月比:-1.8%)
5. 総従業員数	54,675人 (前年同月比:-5.9%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	3-5月 22.8%、4-6月 26.3%、5-7月 22.0%、 6-8月 14.7%、7-9月 17.6%、8-10月 18.4%

[参考] 2021年10月の売上高増減率は2.9%(店舗数調整後)

【特徴】

10月の売上高は11.4%増、入店客数9.4%増と、共に8か月連続プラスとなった。

比較的安定した感染状況を背景に、外出機会や全国旅行支援等による人流の増加があったことで、会員向け施策・物産展等の各種企画催事が盛況だった。一部店舗では改装効果も見られた。また、高額商材の増勢が続いている他、主力の衣料品や服飾雑貨においても、気温低下や旅行需要などから、秋冬アイテムの動きが本格化し好調に推移した。

コロナ前との比較では、消費増税の影響があった2019年比では13.1%増、特殊要因のない2018年比では、前月(9月:2018年比6.5%減)とほぼ同水準の6.6%減だが、一部店舗で2018年実績を超えるなど、一段と復調傾向を強めている事例も見られた。

顧客別では、インバウンドが、水際対策の大幅緩和や円安の影響から335.2%増(7か月連続/シェア3.2%)となった。コロナ前の2019年比では46.6%減と、未だ半減の状況ではあるが、前月より17.1ポイント改善した。国内市場も堅調で8.7%増(8か月連続/シェア9.8%)、2019年比では17.4%増であった。

地区別では、前月に続き、全地区で対前年増となった。大都市(10都市/13か月連続/14.5%増)と地方(10都市以外の地区/7か月連続/3.5%増)の伸び率格差は、前月より5.1ポイント縮小した。

商品別では、主要5品目のうち、4品目で前年実績を超え、高額品(身のまわり品、美・宝・貴)や菓子、惣菜、家電は、2018年実績もクリアした。

高伸するラグジュアリーブランドや時計・宝飾品等では、一部で価格改定前の駆け込み需要も見られた。菓子は引き続き手土産・ギフト需要から二桁の伸びを示している他、天候与件もあってコートやジャケットなど重衣料も好調だった。おせちやクリスマスケーキの予約は、WEB施策等も奏功し堅調な滑り出しを見せている。

各店では年末商戦を前に、感染対策を続けつつ業績回復に向けた各種施策を進めている。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「10月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇気温は東日本で低く、全国的に気温の変動が大きかった。降水量は東・西日本の日本海側と東・西日本の太平洋側で少なかった。日照時間は西日本の日本海側と西日本の太平洋側では高気圧に覆われやすかったため、多かった。
- (2) 営業日数増減 30.8日(前年同月比 -0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 11日(〃 祝日1日増)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数104店舗)
①増加した:66店、②変化なし:20店、③減少した:18店
- (5) 10月歳時記(秋物商戦、秋の行楽)の売上(同上/有効回答数79店舗)
①増加した:25店、②変化なし:51店、③減少した:3店

全国百貨店 売上高速報 2022年10月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	428,191,975	100.0	11.4 (11.3)
10都市	316,407,375	73.9	14.5 (14.3)
札幌	11,228,858	2.6	8.0
仙台	6,072,435	1.4	4.5
東京	122,591,122	28.6	17.0
横浜	27,095,318	6.3	10.0
名古屋	30,162,385	7.0	11.6
京都	18,153,061	4.2	13.0
大阪	65,402,538	15.3	20.0
神戸	10,646,208	2.5	9.6
広島	7,864,288	1.8	3.9 (-1.1)
福岡	17,191,162	4.0	8.9
10都市以外の地区	111,784,600	26.1	3.5 (3.4)
北海道	1,007,902	0.2	7.6
東北	5,273,081	1.2	7.8 (5.2)
関東	49,240,443	11.5	2.8
中部	7,961,546	1.9	3.7
近畿	15,959,641	3.7	4.1
中国	8,749,947	2.0	1.5
四国	5,781,127	1.4	2.3
九州	17,810,913	4.2	4.7

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	428,191,975	100.0	11.4 (11.3)
紳士服・洋品	28,278,042	6.6	12.2 (12.2)
婦人服・洋品	87,663,161	20.5	14.7 (14.6)
子供服・洋品	7,323,058	1.7	0.6 (0.4)
その他衣料品	7,463,120	1.7	-3.4 (-3.6)
衣 料 品	130,727,381	30.5	12.1 (12.0)
身のまわり品	67,890,793	15.9	24.9 (24.8)
化粧品	31,371,262	7.3	7.7 (7.6)
美術・宝飾・貴金属	38,353,780	9.0	12.9 (12.9)
その他雑貨	12,654,122	3.0	9.1 (8.8)
雑 貨	82,379,164	19.2	10.3 (10.2)
家具	4,183,298	1.0	-1.7 (-1.9)
家電	1,106,837	0.3	5.5 (5.5)
その他家庭用品	9,738,651	2.3	-4.1 (-4.2)
家 庭 用 品	15,028,786	3.5	-2.8 (-2.9)
生 鮮 食 品	17,857,555	4.2	-1.1 (-1.9)
菓 子	29,452,915	6.9	11.5 (11.4)
惣 菜	29,262,313	6.8	8.0 (7.9)
その他食料品	32,202,616	7.5	5.0 (4.9)
食 料 品	108,775,399	25.4	6.4 (6.1)
食 堂 喫 茶	9,585,369	2.2	18.3 (17.9)
サ ー ビ ス	4,291,456	1.0	16.4 (16.0)
そ の 他	9,513,627	2.2	4.3 (4.3)
商 品 券	5,616,028	1.3	-4.0 (-4.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	14.5% (店舗数調整後／13か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	3.5% (店舗数調整後／7か月連続プラス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
10都市	14.5	10.4	13か月連続プラス
札幌	8.0	0.2	8か月連続プラス
仙台	4.5	0.1	8か月連続プラス
東京	17.0	4.6	14か月連続プラス
横浜	10.0	0.6	8か月連続プラス
名古屋	11.6	0.8	13か月連続プラス
京都	13.0	0.5	13か月連続プラス
大阪	20.0	2.8	13か月連続プラス
神戸	9.6	0.2	8か月連続プラス
広島	3.9	0.1	8か月連続プラス
福岡	8.9	0.4	13か月連続プラス
10都市以外の地区	3.5	1.0	7か月連続プラス
北海道	7.6	0.0	6か月連続プラス*
東北	7.8	0.1	6か月連続プラス*
関東	2.8	0.4	8か月連続プラス
中部	3.7	0.1	7か月連続プラス
近畿	4.1	0.2	3か月連続プラス
中国	1.5	0.0	7か月連続プラス*
四国	2.3	0.0	3か月連続プラス
九州	4.7	0.2	3か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、家庭用品を除く4品目でプラスとなった。その他の品目は、化粧品が8か月連続、菓子、惣菜が14か月連続でプラスとなったが、家具が7か月ぶり、生鮮食品が2か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
総額	11.4	—	8か月連続プラス
紳士服・洋品	12.2	0.8	8か月連続プラス
婦人服・洋品	14.7	2.9	8か月連続プラス
子供服・洋品	0.6	0.0	3か月連続プラス
その他衣料品	-3.4	-0.1	7か月ぶりマイナス
衣料品	12.1	3.7	8か月連続プラス
身のまわり品	24.9	3.5	13か月連続プラス
化粧品	7.7	0.6	8か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	12.9	1.1	21か月連続プラス*
その他雑貨	9.1	0.3	7か月連続プラス*
雑貨	10.3	2.0	13か月連続プラス
家具	-1.7	-0.0	7か月ぶりマイナス
家電	5.5	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-4.1	-0.1	3か月ぶりマイナス
家庭用品	-2.8	-0.1	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	-1.1	-0.1	2か月連続マイナス*
菓子	11.5	0.8	14か月連続プラス*
惣菜	8.0	0.6	14か月連続プラス*
その他食料品	5.0	0.4	3か月連続プラス*
食料品	6.4	1.7	3か月連続プラス
食堂喫茶	18.3	0.4	8か月連続プラス
サービス	16.4	0.2	7か月連続プラス
その他	4.3	0.1	7か月連続プラス
商品券	-4.0	-0.1	5か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>